1 従業員死亡、道警が安全管理を捜査

従業員が機械に体を挟まれる事故があった函館山ロープウェイの山麓駅＝１１日夜、北海道函館市

北海道函館市の「函館山ロープウェイ」の山麓駅で１１日、従業員の成田良平さん（２６）が機械に両脚を挟まれた事故で、成田さんは１２日未明に搬送先の病院で死亡した。

函館西署は１２日、安全管理に不十分な点がなかったか、当時の状況などを本格的に調べる。

運行会社によると、「上から油が落ちてきて服に付いた」と乗客から苦情があり、成田さんは１１日午後４時半ごろからワイヤにたまった油を１人で清掃。同５時１０分ごろ、到着したゴンドラの滑車と車輪止めの間に両脚を挟まれ、腰の骨を折る重傷を負った。誤って足場から落下した可能性があり、約２時間後に救助されたが病院で死亡した。

同社幹部は「乗客が多く運行間隔の短い夜間に無理してやる作業ではなく、翌朝などにすべきだった」としている。

同社は事故後、救助と点検のためロープウエーの運行を取りやめ、山頂では観光客約千人が一時取り残された。１２日以降、運行再開の見通しは立っていない。

３　函館山ロープウェイ　１週間ぶりに運行再開

12 月 18 日 21 時 15 分

今月１１日に点検作業中の従業員が死亡する事故が起きて運行を取りやめていた北海道の「函館山ロープウェイ」は安全が確認できたとして、１８日、１週間ぶりに運行を再開しました。

函館市の「函館山ロープウェイ」は、今月１１日、ふもとの山麓駅で点検作業をしていた２６歳の男性従業員が、到着したゴンドラの滑車と駅の設備の間に挟まれて死亡しました。

運行会社は、事故のあと運行を取りやめていましたが、緊急の再発防止策をまとめて北海道運輸局に報告し、安全が確認できたとして、１８日午前、１週間ぶりに運行を再開しました。

山麓駅では観光客が次々とゴンドラに乗り込み、山頂の駅に着くとゴンドラを降りて展望台に向かい、函館の景色を楽しんでいました。

再発防止策では、今後、点検作業などについてロープウエーの運行を止めたうえで、２人以上で行うなどとしています。

「函館山ロープウェイ」の竹村隆社長は「きょうが再スタートと思って安全な運行に努めたい」と話していました。

（by ＮＨＫ）